

本資料は(一財)社会変革推進財団との業務委託契約に基づき、SIMIの責任において制作されました。原著の著作権は当該資料を作成した作者にあり、日本語化された資料の著作権は(一財)社会変革推進財団及び(一財)社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブにあります。

(<https://simi.or.jp/grc/roadmap-for-the-future-of-impact-investing-reshaping-financial-markets/>)

Roadmap for the Future of Impact Investing: Reshaping Financial Markets

Global Impact Investing Network

2018

SIMI抄訳・まとめ

概要と趣旨

- GIINでは、社会・環境の要素が日常的に「普通のこと」として投資判断に組み込まれている将来を構想。そのような将来をつくりあげるのに、インパクト投資は、産業として、ムーブメントとして中心的な役割を担う。
- SDGsの達成のために必要なグローバル課題の解決には、政府やフィランソロピー資金だけでは到底足りない。
- 金融業界が、未来をつくる Force for Good になるためという自覚が必要であり、そのためにインパクト投資コミュニティがなすべき具体的なアクション(6つの分野における18のアクション)をロードマップで示す。
- 必要なのは、私たちが未来を作るという「変革」の意志であり、変革には時間がかかることを意識しながら、危機感と切迫感をもって、行動に移すべき。そこで必要なのは、明確な意図、集中、コーディネーション。
- 本レポートの作成にあたって約350人のステークホルダーから聞き取りを行ったが、近い将来、人々や地球全体への影響を考慮せず行われる投資行動は考えられなくなる、という点では、インパクト投資業界だけでなく、関連する国際機関や規制機関でも一致している。

6分野における18のアクションとロードマップ(全体像)

6分野

1. インパクト投資のアイデンティティ強化
2. 投資行動と投資からの期待を支配するパラダイムを変える
3. インパクト投資商品の拡大
4. ツールやサービスの開発
5. 教育や訓練機会の強化
6. 政策・規制の拡充

ロードマップ

すぐさまアクション(2018年～)

1-2年以内に達成(2020年まで)

3-5年以内に達成(2023年まで)

5-7年以内に達成(2025年まで)

2030年まで

- ・ インパクト投資への資金フローが2018年と比較して飛躍的に増加している。
- ・ インパクトを高める効果と効率性が高まり、SDGsの達成に貢献している。



6分野における18のアクションとロードマップ(1)

	2018~	~2020	~2023	~2025
1. インパクト投資のアイデンティティ強化				
a. 「インパクト投資家」であることを基礎づける共通指針を確立する		X	X	
b. インパクトの測定、マネジメント、レポーティングのためのベストプラクティスを開発し、共有する。	X			
c. 投融資の種類によって、リスク・リターンの期待値や資本市場における役割を理解する。	X			
2. 投資行動と投資からの期待を支配するパラダイムを変える				
a. インセンティブをインパクトと整合させ、インパクトの度合いによって投資判断や報酬の主要な決定要因となるようにする。				X
b. 広範なグローバル・キャンペーンを展開し、社会における資本の役割についての考え方を再構築する。		X		
c. 投資に関する基本的な理論構築を更新し、リスクとリターンに加えてインパクトを統合する。			X	X
3. インパクト投資商品の拡大				
a. リテール商品の商品数・範囲の拡大			X	
b. 幅広いテーマ、セクター、地域をカバーする機関投資家向けの質の高い投資商品の拡充	X			
c. 新規のファンド・マネージャーに資本を投入し、革新を加速させる。	X			
d. ブレンデッド・ファイナンスを推進し、投資先のニーズを満たしつつ異なる投資家の目的を達成していく	X			

6分野における18のアクションとロードマップ(2)

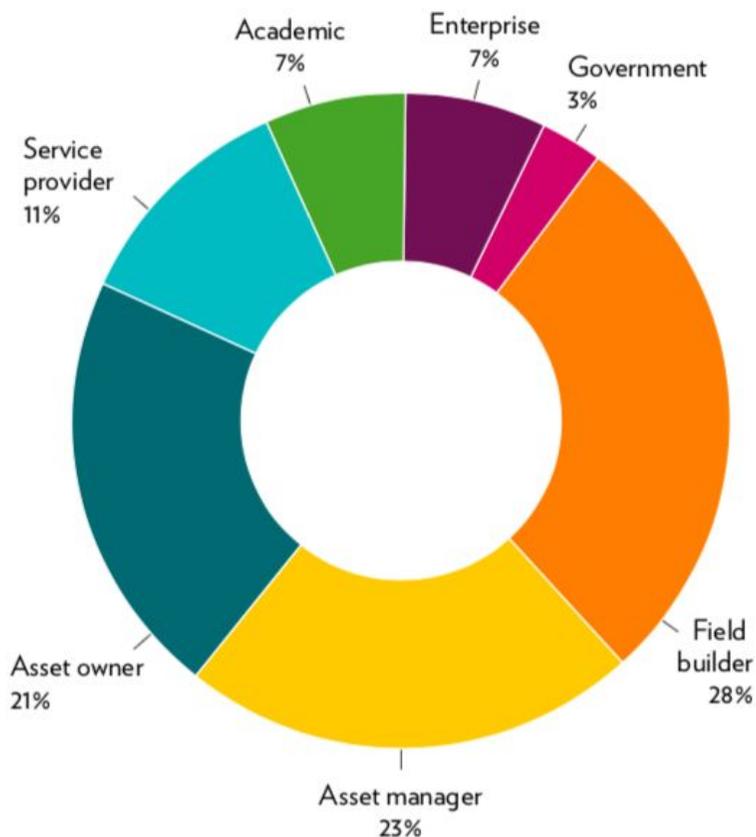
	2018~	~2020	~2023	~2025
4. ツールやサービスの開発				
a. 多様な要素を測定するインパクトのレーティングを開発し、インパクトを金融フレームワークに統合する。				X
b. リスク、リターン、インパクトを統合した分析・投資判断ツールを構築する。	X			
c. 資金調達、ディール組成、ストラクチャリング、シンジケーション、証券化など、インパクト投資向けの投資金融サービスを拡大する。	X			
5. 教育や訓練機会の強化				
a. 投資アドバイザーやファンド・マネージャーなどの金融業界の専門家を対象としたインパクト投資に関する研修プログラムを開発する		X	X	X
b. 起業家や事業開発担当の能力を構築するサービスを拡大し、その効果を高めることで、インパクトに焦点を当てたビジネスの発展を支援する。	X			
6. 政策・規制の拡充				
a. 社会的・環境的配慮に包含する受託者責任の解釈を明確にする。		X	X	
b. インパクト投資に対する税制上の優遇措置を確立する。		X		
c. 金融商品開発およびインパクトの測定・報告を奨励する規制を整備することにより、インパクト投資を促進する環境を整える。		X		X

参考: 対象となった350名の聞き取り相手

種別

FIGURE 6. Interviewees by Organization Type

n = 71



フォーカス・グループ開催地と人数
(日本はない！。北東南アジアはインドネシア一箇所のみ)

TABLE 3. Focus Group Locations and Participants

LOCATION	NUMBER OF PARTICIPANTS
Cambridge, MA, USA	5
Cape Town, South Africa	7
Geneva, Switzerland	5
Glen Cove, NY, USA	87*
Jakarta, Indonesia	20*
London, UK	10
Mexico City, Mexico	6
Mumbai, India	12
New Delhi, India	11
New York City, NY, USA	28*
Seattle, WA, USA	13
Washington DC, USA	4
Belgium, Netherlands, and Luxembourg	5#
Zurich, Switzerland	4

*Given the number of people, these were split into multiple groups. #Virtual
Source: GIIIN

日本への示唆

- GIINはインパクト投資の「業界団体」的にみられがち。各種調査を行い、米国内や世界でのインパクト投資業界の現状を公表しているのですが、その側面も大きいですが、もうひとつ、はっきりとした志向性をもった「ムーブメント」の側面を持っていることは理解すべき。
- SDGs終了年に合わせ、2030年までのロードマップをつくり、しっかり「意志」を持って行動することをコミットしている。
- 危機感と切迫感にもとづき、インパクト投資を突破口にして、金融業界が未来をつくるForce for Good にトランスフォームするという大きな野心とそのための明確なアクションを表明している。

ご利用条件

本資料は一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(Social Impact Management Initiative: SIMI) (以下「当法人」といいます)が運営するSIMIグローバルリソースセンター(以下「本ウェブサイト」といいます)に掲載されているものです。

本ウェブサイトを利用される前に以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件にご同意された場合のみご利用ください。本ウェブサイトをご利用されることにより、以下の条件にご同意されたものとみなします。

なお、以下の条件は、予告なしに変更されることがあります。本条件が変更された場合、変更後の利用条件に従っていただきます。あらかじめご了承ください。

1. 著作権について

本ウェブサイト上のすべてのコンテンツに関する著作権は、特段の表示のない限り当法人および当該資料の原著の作者に帰属しております。そのすべてまたは一部を、法律にて定められる私的使用等の範囲を超えて、無断で複製、転用、改変、公衆送信、販売などの行為を行うことはできません。

2. 免責事項

本ウェブサイトは、社会的インパクト・マネジメントに関連する海外の文献や資料を、日本語に訳しまとめたものを、著者及び出版元の許可を得て掲載しています。本ウェブサイトに掲載されているコンテンツは、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語の原文を参照していただくよう、お願いいたします。

誤りのないようあらゆる努力をしておりますが、誤訳、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して、当法人関係者及び当ウェブサイトは、一切の責任を負わないものといたします。

当法人は、予告なしに、本ウェブサイトの運営を中断または中止、掲載内容を修正、変更、削除する場合がありますが、それらによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。また本ウェブサイトのご利用によりご使用者様または第三者のハードウェアおよびソフトウェア上に生じた事故、データの毀損・滅失等の損害について一切責任を負いません。

3. リンクについて

営利、非営利、イントラネットを問わず、本ウェブサイトへのリンクは自由ですただし、公序良俗に反するサイトなど、当社の信用、品位を損なうサイトからのリンクはお断りします。また事前事後にかかわらず、その他の理由によりリンクをお断りする場合があります。

4. 資料の引用について

本ウェブサイト上に掲載された日本語まとめ、抄訳及び翻訳資料を引用する際には、出典の著作者名として「一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(SIMI)グローバルリソースセンター」及び当該資料の原著の著作者名を、併せて明記ください。なお、引用の範囲を超えられる場合は、当法人および当該資料の原著の著作者に了解を得てください。